

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイヤ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

3月ダイヤ改・職名廃止・融合化反対！ 動労千葉 2/7 千葉支社団体交渉

職名廃止・業務融合に関する交渉概要

- ◆職名廃止は「運転も駅もやらせるから個別の名前はいらぬ」ということか。説明を見ると専門職をなくすということだ。専門的な技術の継承は鉄道会社の一番の基本だ。
→会社：全員が毎日違うことをやれるかと言うと、実際問題として難しい。専門家がいぬとは言い切れない。
- ◆融合化はJRで90年代にもやった。西日本は尼崎事故、北海道は保線区での改ざんに行き着いた。教育のあり方、要員削減が問題になった。そういう経緯があるのに、それ以上のことを東日本がやるのか。
→会社：そうならないようにしていく。
- ◆一つのダイヤで「駅」「乗務」「草刈り」といったものはないのか。
→会社：定期行路でいうと、今回のダイヤ改ではない。やることはあるかもしれないが、現時点で予定しているものはない。
- ◆今でも精一杯の状況だ。運転士には案内設定もやらせるという。負担が増えればミスも増える。融合化は事故に繋がりにかぬない。
→会社：社員から「いろんなことをやりたい」という声が出ている。
⇒乗務員が希望もしないの強制的に異動させられている。それを望む声があるわけではない。業務融合・職名廃止もジョブローテーションも中止すべきだ。

動労千葉は2月7日、3月ダイヤ改をめぐって千葉支社との団体交渉を行いました。

会社は「安全は大事だ」といながら、毎日鉄道の安全を

守っている現場の労働者をないがしろにしています。

どんな技術を使っても安全を守るのは現場労働者です。「コロナ赤字」などは口実です。

運転士や車掌などの専門的な技術・経験を軽視して、「何でも屋」のように扱うなど許せません。職場から3月ダイヤ改に反対の声をあげよう。